

【 目 次 】

1.	UPS 設定ユーティリティとは？	2
2.	UPS 設定ユーティリティの動作環境	3
3.	ソフトウェア使用許諾書について	4
4.	UPS とパソコンの接続方法	5
5.	UPS 設定ユーティリティの使用方法	6
5-1.	アプリケーションを起動し UPS との通信を確立する	6
5-2.	UPS の設定を変更する	7
5-3.	設定内容のバックアップを行う	9
5-4.	UPS 設定バックアップファイルより UPS の設定を復元する	9
5-5.	UPS の設定をデフォルト（工場出荷時）状態に戻す	11
5-6.	アプリケーションを終了する	12
6.	各種設定の詳細説明	13
6-1.	UPS 基本設定	13
6-2.	UPS 起動設定	16
6-3.	UPS 接点信号設定	19
6-4.	出力コンセント制御設定	21
6-5.	入出力設定	23
6-6.	バッテリー設定	25
6-7.	LCD 制御設定・その他	27
6-8.	コマンド送受信	27
7.	設定項目の機種別対応表	28
7-1.	常時インバータ給電方式（200V/正弦波）	28
7-2.	常時インバータ給電方式（100V/正弦波）	29
7-3.	ラインインタラクティブ方式（100V/正弦波）	30
7-4.	常時商用給電方式（100V/正弦波）	31
7-5.	常時商用給電方式（100V/矩形波）	32
8.	アンインストールおよび動作の確認	33

Revision History:

Rev.	Date	Description	Author
1.00	2016/2/8	1 st Release	Y. O
1.01	2017/8/7	対応 UPS に BU150R を追加	Y. H
1.02	2018/2/5	対応 UPS に BW-T シリーズを追加	Y. H

1. UPS 設定ユーティリティとは？

UPS 設定ユーティリティは、UPS の各種設定を行うためのソフトウェアです。本ソフトウェアを使用することにより、UPS の設定変更を簡単に行うことができます。

例：停電時、シャットダウンソフトを使用せずに UPS を停止させる。

→「最大バックアップ時間設定」をする

また、UPS の設定内容をファイルにバックアップしたり、他の UPS に設定内容を転送したりすることもできます。

【設定可能項目】

- ① [UPS 基本設定] タブ
ブザー設定、電圧感度モード設定、コールドスタート設定、最大バックアップ時間設定
- ② [UPS 起動設定] タブ
起動時の自己診断テスト、4 週間毎の自己診断テスト、起動遅延時間設定、
起動バッテリー充電容量設定、DC 起動、自動再起動、自動再起動モード (BS 信号)
- ③ [UPS 接点信号設定] タブ
BS 信号遅延時間設定、BU 信号遅延時間設定、BS 信号許可モード、BS 信号受付時間、
リモート信号動作、接点信号論理、可変出力信号線
- ④ [出力コンセント制御設定] タブ
出力開始遅延時間設定、出力停止遅延時間設定
- ⑤ [入出力設定] タブ
出力電圧設定、周波数同期モード、ECO モード、入力プラグ、切替感度、最大瞬停時間
電源スイッチ機能
- ⑥ [バッテリー設定] タブ
バッテリー寿命カウンタ、UPS 寿命カウンタ、バッテリーロー検出レベル、UPS 設置日
バッテリー交換日
- ⑦ [LCD 制御設定・その他] タブ
表示言語、LCD 自動オフ、メモ、内蔵時計、ログ件数

【ユーティリティ機能】

- ① コマンドを送受信する機能
- ② 設定をバックアップファイルに保存する機能
- ③ バックアップファイルから設定を戻す機能
- ④ UPS の設定内容を読み出す機能
- ⑤ UPS の設定をデフォルト値に戻す機能

2. UPS 設定ユーティリティの動作環境

対応コンピュータ	DOS/V 機 (Apple 製 Macintosh OS およびその互換機ではご使用になれません)
対応 OS	Windows 10 / 8.1 / 8 / 7 / Vista / XP Windows Server 2012R2 / 2012 Windows Server 2008R2 / 2008 Windows Server 2003R2 / 2003
インタフェース	RS232C USB ※RS232C 通信設定 : 2400bps/8bit/1bit/nON
対象 UPS	[BU-2RWL シリーズ] BU5002RWL, BU3002RWL, BU2002RWL [BU-2RW シリーズ] BU1002RW [BU-2SW シリーズ] BU3002SW, BU1002SW [BU-RE シリーズ] BU100RE, BU60RE [BU-RW シリーズ] BU300RW, BU200RW, BU100RW, BU75RW [BU-RS シリーズ] BU100RS [BU-R シリーズ] BU150R [BU-SW シリーズ] BU150SW, BU100SW, BU75SW, BU50SW [BA シリーズ] BA100R, BA100T, BA75T [BN-R シリーズ] BN300R, BN150R, BN75R [BN-XR シリーズ] BN150XR [BN-T シリーズ] BN300T, BN220T, BN150T, BN100T, BN75T, BN50T [BN-S シリーズ] BN300S, BN220S, BN100S, BN75S, BN50S [BW-T シリーズ] BW40T, BW55T, BW100T, BW120T [BY シリーズ] BY75SW, BY50FW, BY120S, BY80S, BY50S, BY35S [BX シリーズ] BX75SW, BX50FW, BX50F, BX35F [BZ シリーズ] BZ50LT2, BZ35LT2

	UPS 設定ユーティリティ 取扱説明書	
	For Ver.4.0.3	Rev 1.02

3. ソフトウェア使用許諾書について

本ソフトウェアをコンピュータへインストールされた場合は、次のソフトウェア使用許諾書（以下本契約）内容にご同意いただいたものといたします。ご同意いただけない場合には、本ソフトウェアをパソコンにインストールしないでください。

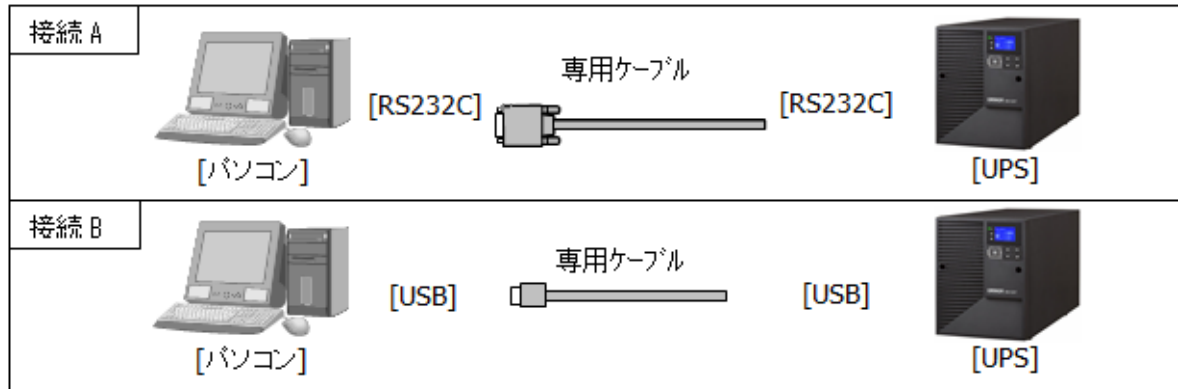
[ソフトウェア使用許諾契約書]

オムロン株式会社（以下オムロンといいます）がお客様にソフトウェア商品（以下ソフトウェア）を使用許諾する条件を定めたものです。必ずソフトウェアをご使用になる前に、以下の事項に注意してお読みください。

1. 本契約にいう「ソフトウェア」とは、本パッケージに含まれるコンピュータ・プログラムおよびそれに関連する技術資料などのすべてを含みます。
ソフトウェアにかかわる著作権その他の知的財産権はオムロンまたはオムロンに使用許諾をしている第三者に帰属し、本契約によりお客様に移転することはありません。
お客様がそれらの権利を侵害した場合、前述のオムロンまたはオムロンに使用許諾をしている第三者に対する責任は、お客様が負うものとします。
2. オムロンは、お客様が無停電電源装置（UPS）を制御する目的のみでソフトウェアを使用する非独占権利を承諾します。
3. ダウンロードしたファイルの再配布は、対象製品の購入者および使用者に対してのみ可能とします。
4. お客様はソフトウェアの改変ならびに逆コンパイル、逆アセンブリ、およびリバースエンジニアリングその他のそれに類する行為を行うことはできません。
5. オムロンは、このダウンロードとソフトウェアの欠陥により発生した、お客様の直接的、間接的あるいは波及効果による損害に対しては一切の責任を負わないものとします。
6. ソフトウェアの改変ならびに逆コンパイル、逆アセンブリ、およびリバースエンジニアリングその他のそれに類する行為により、特許権（実用新案権に基づく権利も含む。以下同じ）または著作権を侵害するものとしてオムロンに使用を許諾している第三者または当該第三者以外からお客様が請求された場合にはオムロンは責任を負いません。
7. お客様が本契約に違反した場合、オムロンはお客様に通知することによりソフトウェアの使用許諾を終了させることができます。その場合お客様はソフトウェアおよびそのすべての複製物をオムロンに返却しなければなりません。
8. 他のネットワークへの転載、ダウンロードしたファイルおよび作成したファイルの改変、雑誌・市販製品へ許可なく添付することを禁止します。
9. ソフトウェアは、予告せずに改良、変更することがあります。

4. UPS とパソコンの接続方法

「UPS 設定ユーティリティ」を利用するには、パソコンと UPS を下記いずれかの方法にて接続します。







注意

「UPS 設定ユーティリティ」は、自動シャットダウンソフト (Simple Shutdown Software、PowerAct Pro、PowerAttendant Lite 等) が動作している環境では、UPS と通信することができません。





自動シャットダウンソフトがインストールされているパソコンでは、「UPS 設定ユーティリティ」を起動する前に、以下の手順で自動シャットダウンソフトのエージェントを停止し、UPS を開放してください。

また、「UPS 設定ユーティリティ」終了後は、必ず、停止したエージェントを起動してください。

■PowerActPro MasterAgent／Simple Shutdown Software の場合

- ①タスクトレイの常駐アイコン  を右クリックし、[エージェント停止] を選択します。
→常駐アイコンが  になったら、エージェントは停止しています。
- ②タスクトレイの常駐アイコン  を右クリックし、[エージェント起動] を選択します。
→常駐アイコンが  になったら、エージェントは起動しています。

■PowerAttendant Lite の場合

- ①タスクトレイの常駐アイコン  を右クリックし、[エージェント停止] を選択します。
→常駐アイコンが  になったら、エージェントは停止しています。
- ②タスクトレイの常駐アイコン  を右クリックし、[エージェント起動] を選択します。
→常駐アイコンが  になったら、エージェントは起動しています。

5. UPS 設定ユーティリティの使用方法

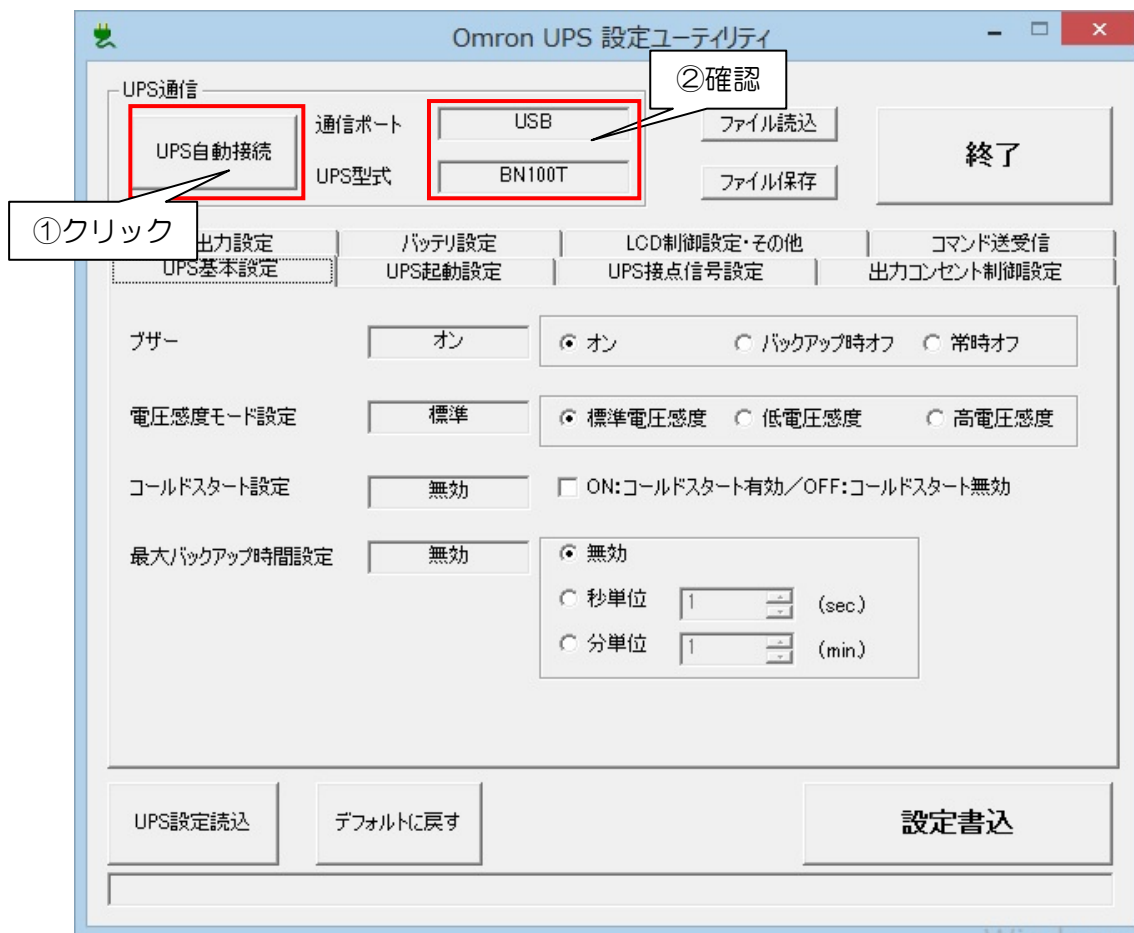
5-1. アプリケーションを起動し UPS との通信を確立する

① アプリケーションの起動

「UPSSettingTool.exe」をクリックしてください。UPS 設定ユーティリティが起動します。
(インストール作業は不要です。UPSSettingTool.exe を実行するのみで使用できます。)

② UPS との通信を確立させる

「UPS 自動接続」をクリックするとソフトは自動的にパソコンに接続されている UPS を探しにいき通信できる状態にします。なお、ソフトが UPS を見つけるのには数秒～数十秒かかります。通信が確立したら、「通信ポート」「UPS 型式」欄に情報が正しく表示されます。もし「接続 UPS が存在しませんでした」と表示される場合は、デバイスマネージャ上で UPS が認識されていない、もしくは他のアプリケーションに通信ポートが占有されている可能性があります。



5-2. UPS の設定を変更する

③UPS の設定を変更する

UPS の各種設定内容を変更してください。現在の設定内容はテキストボックスに表示されます。全設定を入力後「設定書込」ボタンをクリックすると変更内容が UPS に書込まれます。（各種設定の意味、設定方法等の詳細については「6. 各種設定の詳細説明」を参照してください）



④設定書込みの確認をする

設定書込の確認を行ってください。

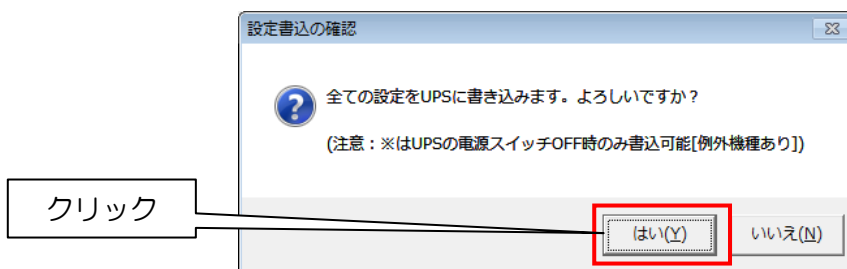
“※” のついた設定項目は UPS の電源スイッチが OFF 時（UPS 停止状態）のみ変更可能です。

“※” 項目の設定変更時は UPS が停止していることを確認してから、「はい」をクリックしてください。

（“※” のついていない設定項目は UPS の電源スイッチ ON 時（UPS 稼働状態）でも変更可能です。）

なお、設定書込は 5～10 秒程度かかります。

“現在の設定内容” の表示が変更後の内容に更新されれば書込成功です。



注意

選択しているタブに関わらず、変更した全ての設定が書き換わりますのでご注意ください。

⑤設定値を UPS 内部の不揮発性メモリ (EEPROM) に保存する

UPS の電源スイッチを OFF した後、UPS の入力電源をオフにし、UPS 操作表示部の表示が完全に消えたことを確認してください。設定内容が UPS 内部の不揮発性メモリ (EEPROM) に保存されます。

注意

設定完了後は、必ず、⑤項の操作で UPS を完全に停止させてください。

■ポイント

- ・ UPS の電源スイッチを OFF にし、UPS が停止したのを確認する
- ・ UPS の入力電源を切る（入カブレーカーを OFF 又は入カプラグをコンセントから抜く等）
- ・ UPS の状態表示、LCD が消えたことを確認する

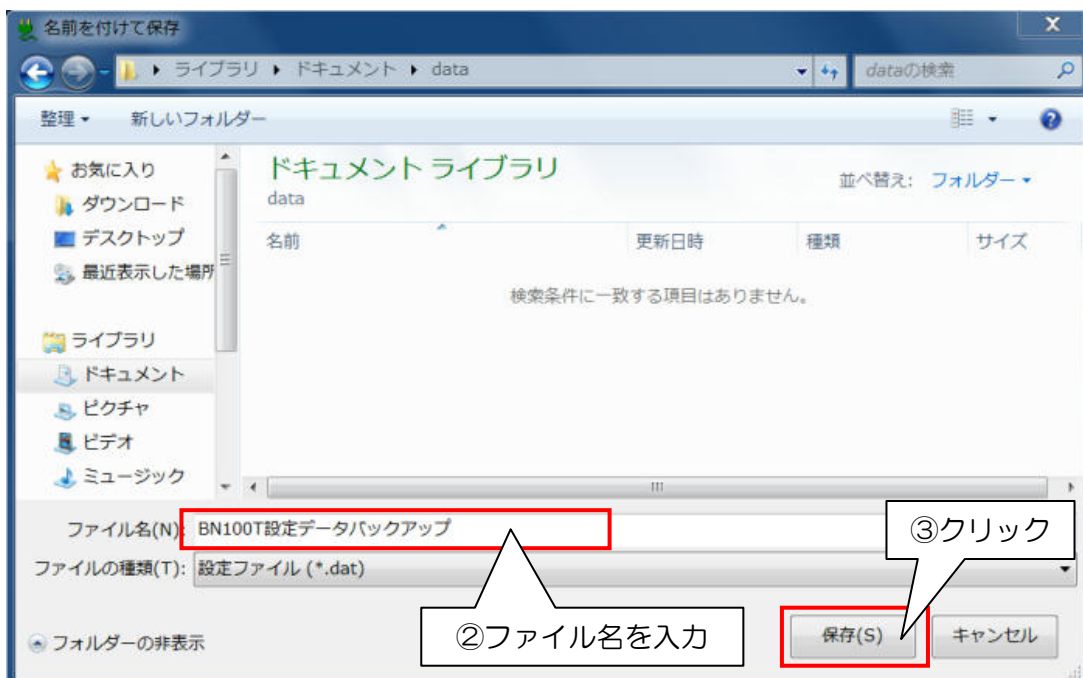
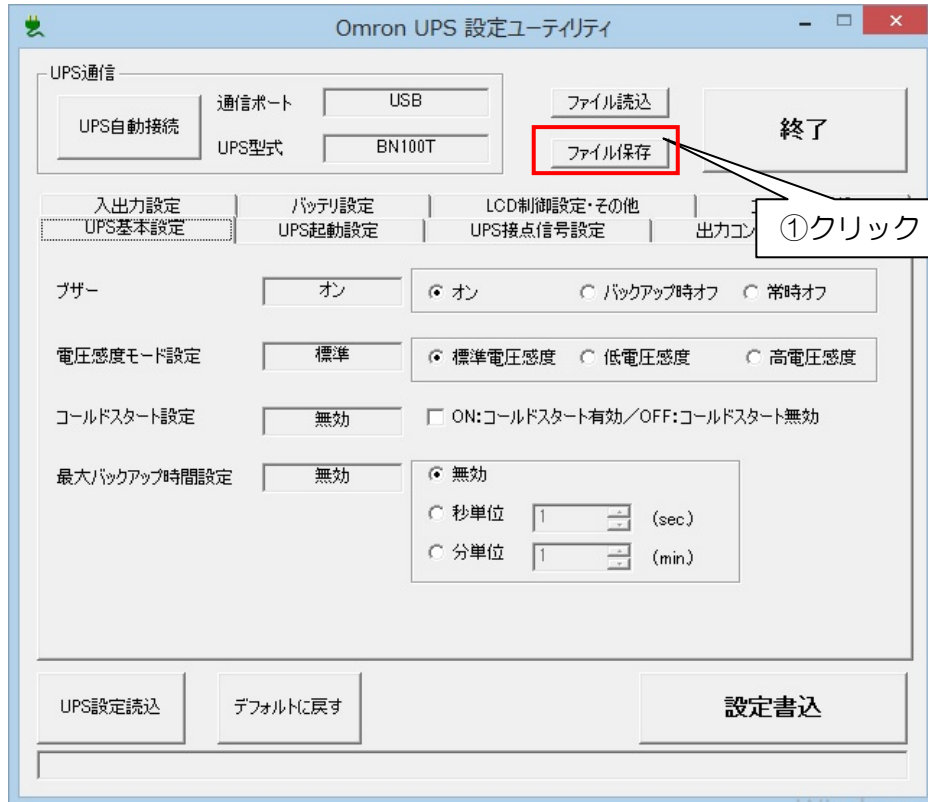
本操作を行わないと、設定値は不揮発メモリ (EEPROM) に保存されませんので、ご注意ください。

5-3. 設定内容のバックアップを行う

⑥設定内容のバックアップを行う

UPS の設定内容をファイルにバックアップすることができます。

バックアップを行う場合は「ファイル保存」をクリックしてください。設定内容がテキストデータで保存されます。(拡張子は".dat")

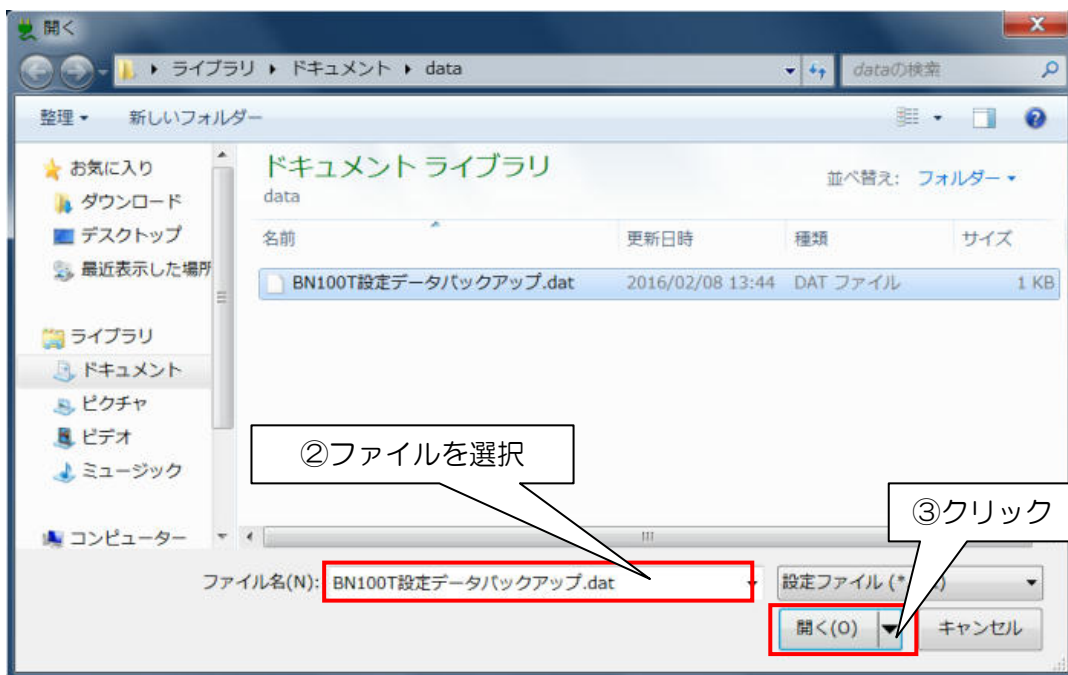
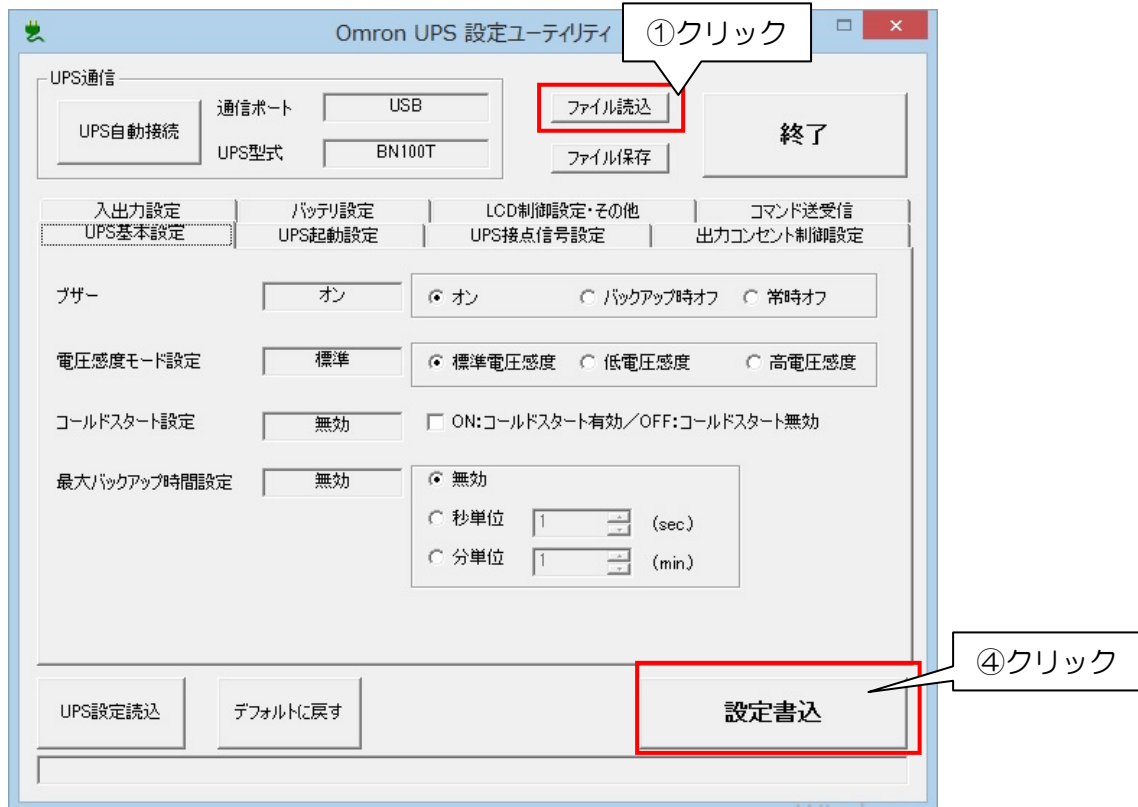


5-4. UPS 設定バックアップファイルより UPS の設定を復元する

⑦バックアップファイルから UPS の設定を復元することができます。

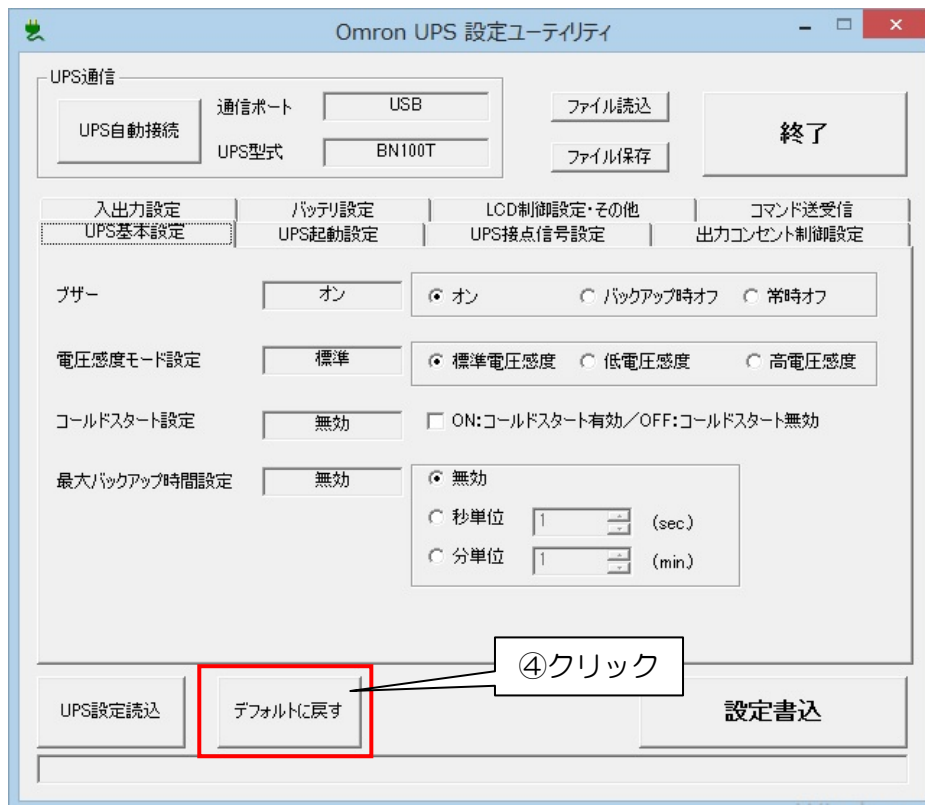
「ファイル読込」をクリックして、バックアップファイルを選択してください。

「設定書込」をクリックするとバックアップの設定内容が UPS に書込まれます。



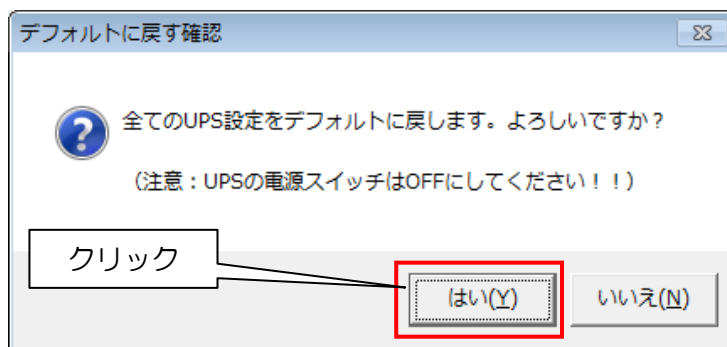
5-5. UPS の設定をデフォルト（工場出荷時）状態に戻す

⑧UPS の設定をデフォルト（工場出荷時）状態に戻すことができます。「デフォルトに戻す」をクリックしてください。



⑨デフォルトに戻す確認

設定をデフォルト状態に戻すのは UPS の電源スイッチを OFF させておく必要があります。UPS の電源スイッチ OFF を確認してから「はい」をクリックしてください。なお書込は 5～10 秒程度かかります。

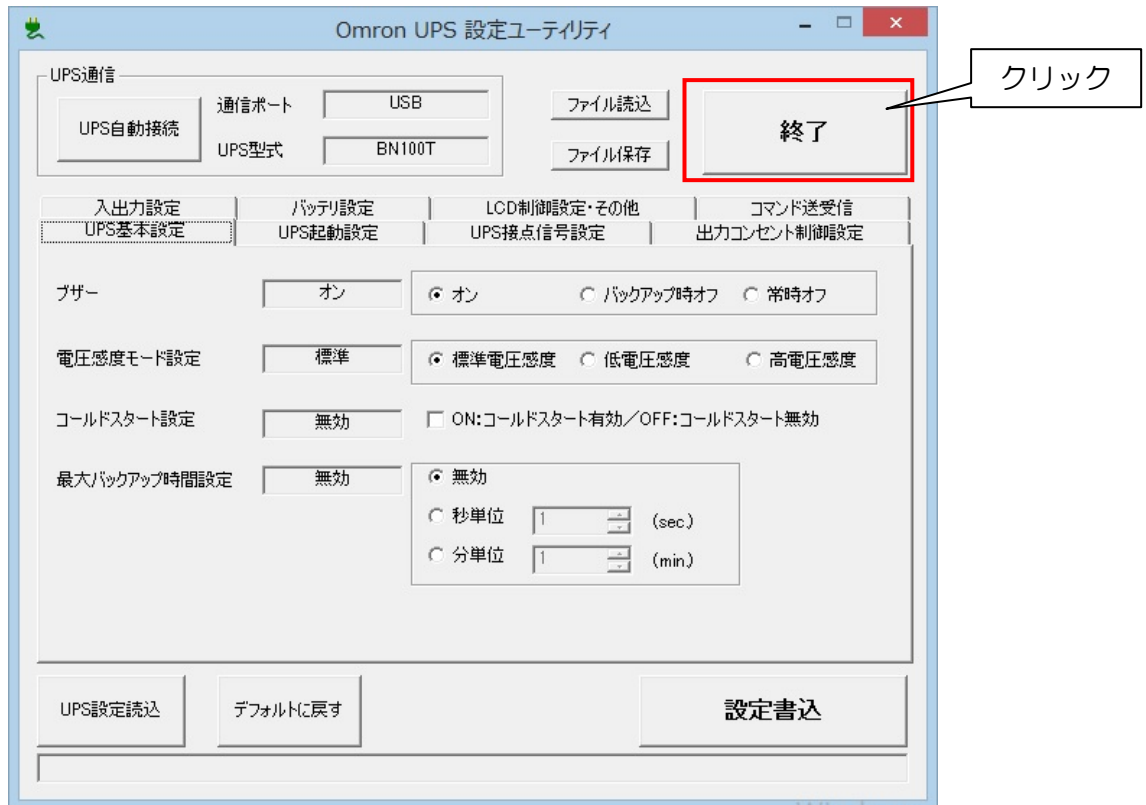


注意

選択しているタブに関わらず、変更した全ての設定がデフォルト値に書き換わりますのでご注意ください。

5-6. アプリケーションを終了する

⑩アプリケーションを終了するには、「終了」をクリックしてください。



6. 各種設定の詳細説明

参考

設定できる項目は、UPS の機種毎に異なります。

次項「7. 設定項目の機種別対応表」をご参照の上、ご使用の UPS でサポートされている設定項目をご確認ください。

6-1. UPS 基本設定



①ブザー

バックアップ運転時、異常発生時等に UPS のブザーを「鳴らす／鳴らさない」の設定を行います。

- ・オン：ブザー有効。全てのブザーを鳴らします。
- ・バックアップ時オフ：バックアップ運転時、バッテリー劣化時はブザーを鳴らしません。
- ・常時オフ：ブザー無効。全てのブザーを鳴らしません。

	オン	バックアップ時オフ	常時オフ
バックアップ中	鳴らす	鳴らさない	鳴らさない
バッテリー Low 中			
バッテリー劣化時			
オーバーロード発生中		鳴らす	
オーバーロード停止時			
内部故障発生時			

注意

オフ設定にする(バックアップ時オフ／常時オフ)と、バッテリー交換時期をお知らせするブザーも鳴らなくなりますので、別途バッテリーの管理が必要になります。ご注意ください。

②電圧感度モード設定

UPS が入力電源異常と判定する(バックアップ運転に切り替わる)入力電圧の感度設定を行います。

- ・標準電圧感度：標準電圧感度に設定します。
- ・低電圧感度：低電圧感度に設定します。
- ・高電圧感度：高電圧感度に設定します。

使用例) 頻繁に停電を検出する為、入力電源異常と判定する電圧を変更したい。

③コールドスタート設定

コールドスタートモード(入力電源が無い環境で UPS を起動させるモード)を有効にします。

- ・OFF (チェックなし)：無効(工場出荷値)。電源に繋がないと、UPS は起動しません。
- ・ON (チェックあり)：有効。電源に繋がなくても、UPS を起動することができます。

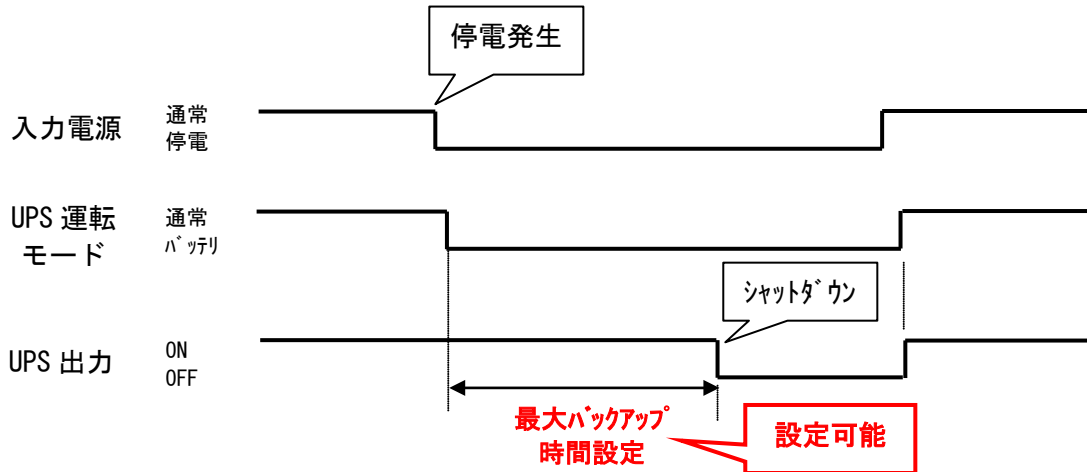
使用例) 電源がない環境で、UPS を電池代わりとして使用する。

④最大バックアップ時間設定

停電時に一定時間放電したら UPS が自動で停止する設定です。

工場出荷値：0（無効）

UPS は入力電源異常時に、本項で設定した時間バックアップ運転を継続した後、出力停止します。設定した時間前に復電した場合は、出力停止せず、そのまま運転を継続します。シャットダウンソフトを使わずに、自動で UPS を停止させることができます。



使用例) 接続機器とは別処理で UPS のみ自動停止させたい。

6-2. UPS 起動設定



① 起動時の自己診断テスト

UPS 起動時に実行される自己診断テストを停止する設定です。

- ・ ON (チェックあり) : 実行する (工場出荷値)
- ・ OFF (チェックなし) : 実行しない

※この設定は UPS の電源スイッチ OFF 時のみ変更可能です。

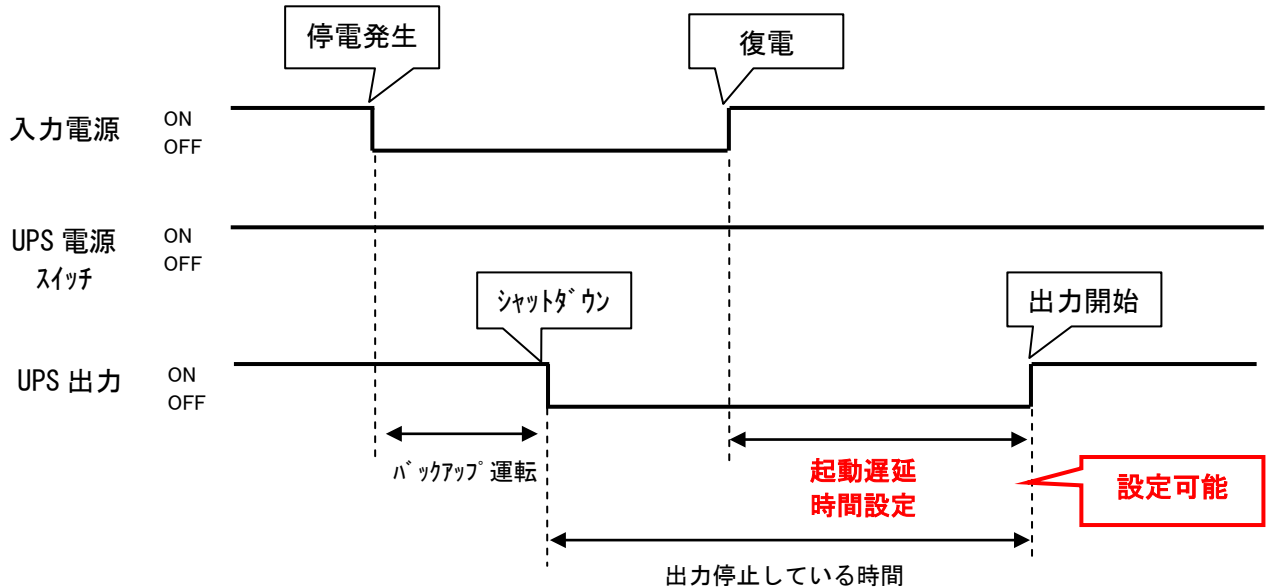
② 4 週間毎の自己診断テスト(バッテリー自動テスト)

4 週間周期のバッテリー自動テストを停止する設定です。

- ・ ON (チェックあり) : 実行する (工場出荷値)
- ・ OFF (チェックなし) : 実行しない

③起動遅延時間設定

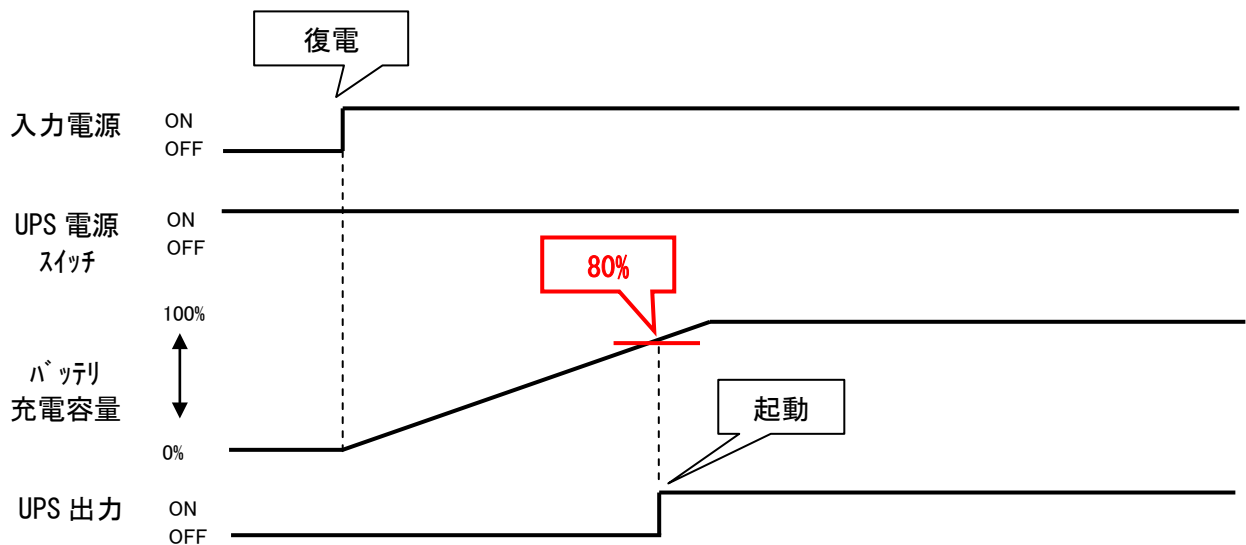
復電時に UPS を自動起動させた場合の起動遅延時間を設定します。
UPS は再起動時に設定した時間遅延して出力を開始します。



④起動バッテリー充電容量設定

UPS が起動可能なバッテリー充電容量を設定します。
バッテリーが、設定された充電容量以上になるまで UPS は起動しません。
工場出荷値：0（無効）

例：起動バッテリー充電容量設定を「80%」にした場合



使用例) 停電が頻繁にある等、バッテリーに一定量の充電をしてから UPS を起動したい。

⑤DC 起動

UPS 起動時のバイパス出力を無効にする設定です。

・OFF (チェックなし) : DC 起動無効。バイパス出力で起動します。(工場出荷値)

・ON (チェックあり) : DC 起動有効。バッテリーで出力で起動します。

※この設定は UPS の電源スイッチ OFF 時のみ変更可能です。

使用例) UPS の入力が発電機等の不安定な電源の為、UPS 起動時のバイパス出力で、負荷に不安定な電源を送りたくない。常にインバータ経由の安定した電力を供給したい。

⑥自動再起動

入力電源異常でシャットダウンした後、復電時の UPS 動作の設定をします。

・ON (チェックあり) : 再起動する (工場出荷値)

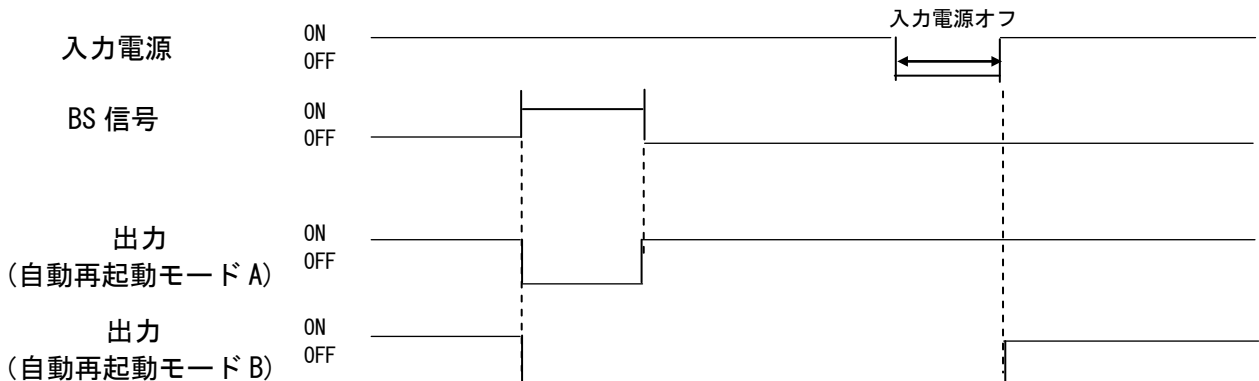
・OFF (チェックなし) : 再起動しない

⑦自動再起動モード

BS 信号で UPS をシャットダウンした後の再起動モードを設定します。

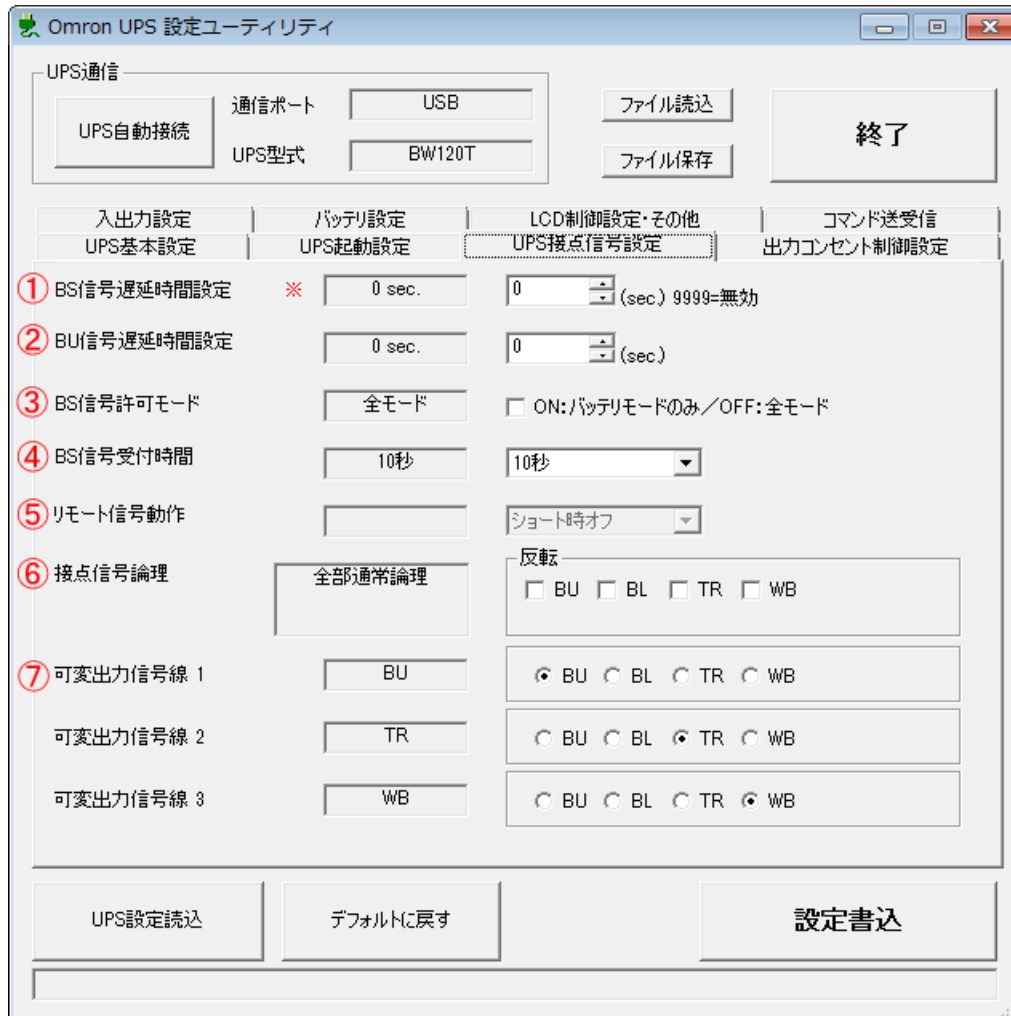
・モード A : 復電で再起動する (工場出荷値)

・モード B : 復電では再起動せず、入力電源の OFF→ON を検知したら再起動する。



使用例) 給電(入力電源がある)状態で UPS を停止し、入力電源の OFF/ON で UPS を起動させる。

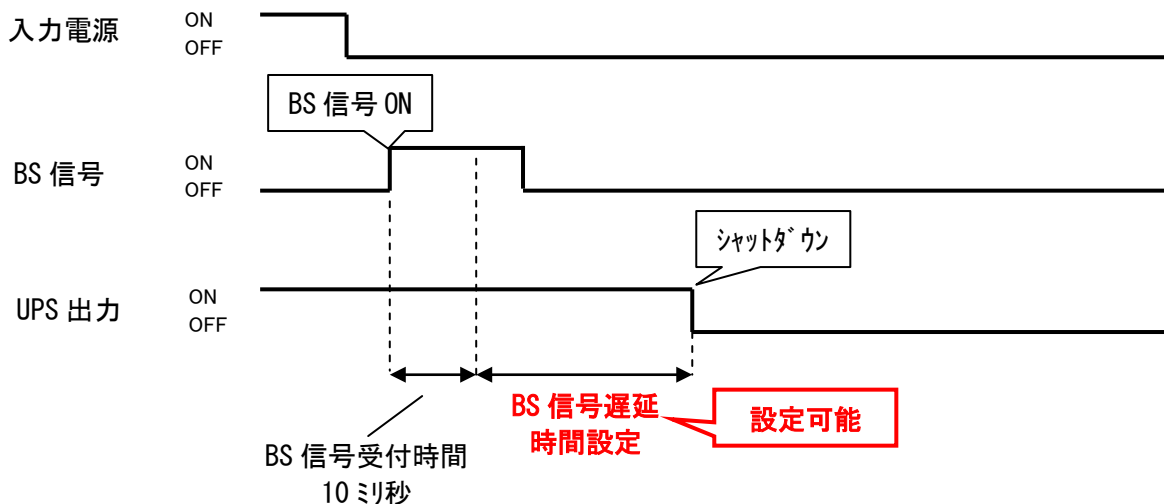
6-3. UPS 接点信号設定



①BS 信号遅延時間設定

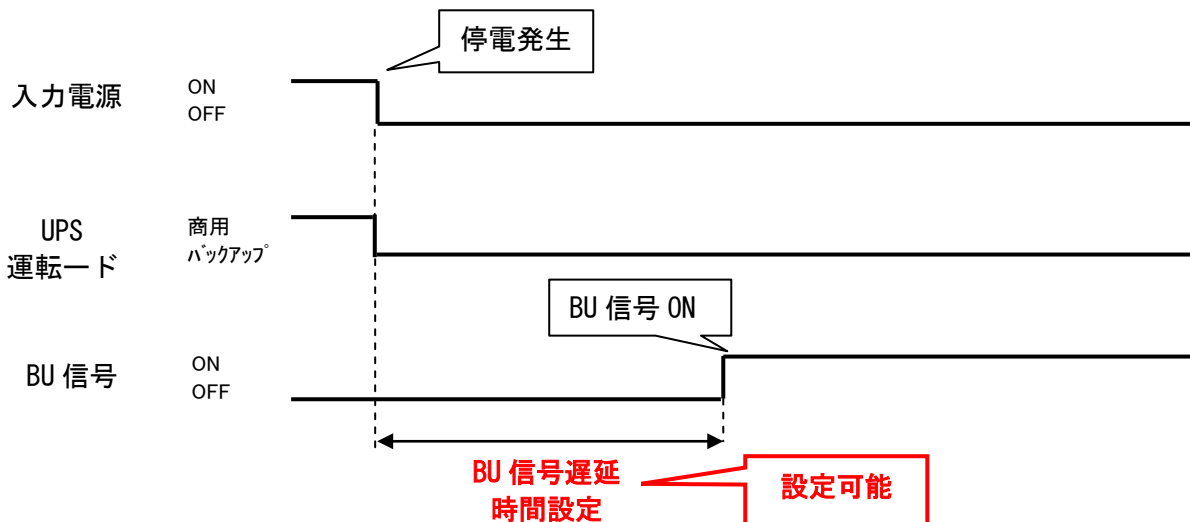
BS 信号入力（バックアップ電源停止信号）を受付けてから UPS の電源出力を停止させるまでの遅延時間を設定します。UPS は BS 信号の入力受付け後、設定時間分待つてから UPS の出力を停止します。

※この設定は UPS の電源スイッチ OFF 時のみ変更可能です。



②BU 信号遅延時間設定

停電が発生時、バックアップ運転に移行してから BU 信号を ON にするまでの遅延時間を設定します。UPS はバックアップ運転に移行後、設定時間分待ってから BU 信号を ON します。



③BS 信号許可モード

BS 信号入力を許可する運転モードを設定します。

- **OFF** (チェックなし) : バックアップ運転、商用運転時とも BS 信号を受け付ける (工場出荷値)
- **ON** (チェックあり) : バックアップ運転時のみ BS 信号を受け付ける

④BS 信号受付時間

BS 信号の印加時間を設定します。

設定した時間以上継続して BS 信号を ON(High)にすると、UPS が出力停止します。

⑤リモート信号動作

リモート ON/OFF 信号の論理設定を反転します。

- **ショート時オフ** : リモート ON/OFF 端子間がショート時、出力をオフ (工場出荷値)
- **オープン時オフ** : リモート ON/OFF 端子間がオープン時、出力をオフ
- **無効** : リモート ON/OFF 無効

⑥接点信号論理

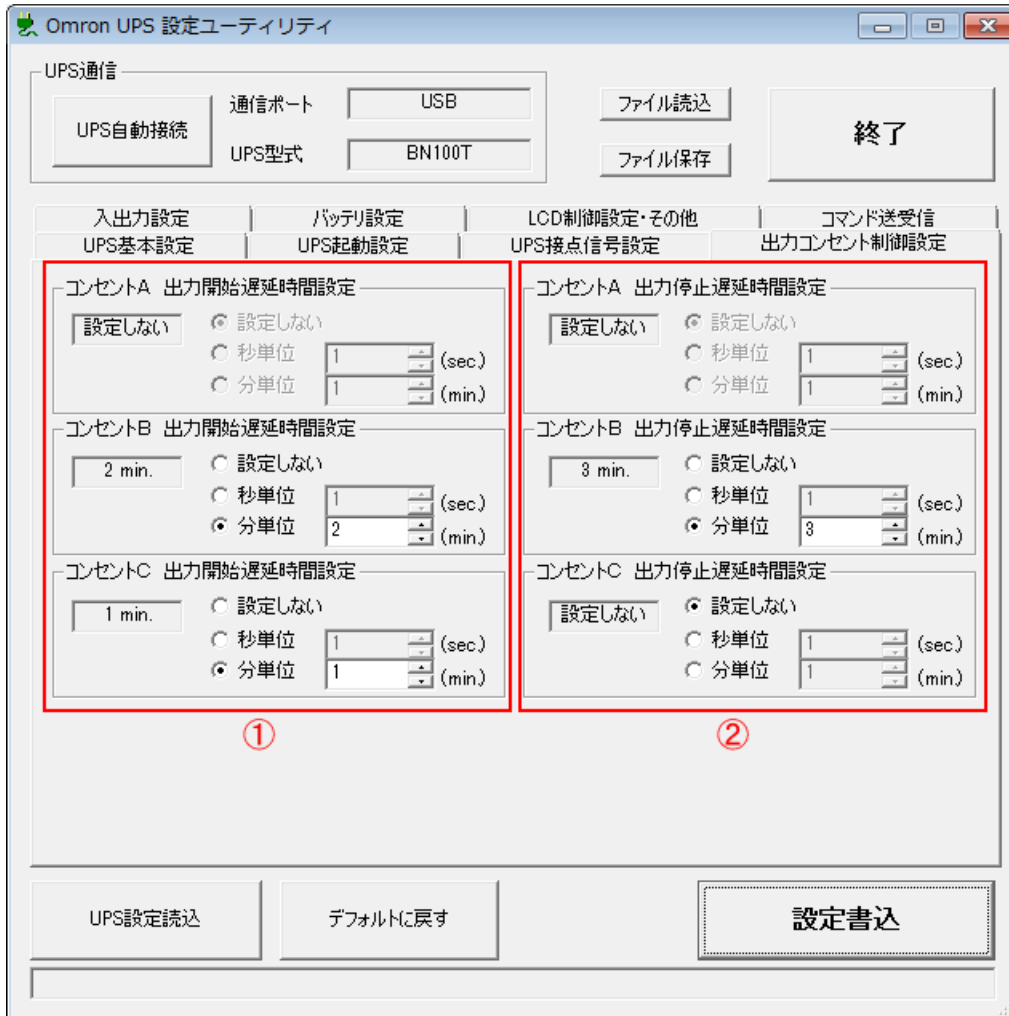
接点信号入出力ポートの出力信号の論理設定を反転させる設定です。

- **OFF** (チェックなし) : 通常出力 (工場出荷値)
- **ON** (チェックあり) : 反転出力

⑦可変出力信号線

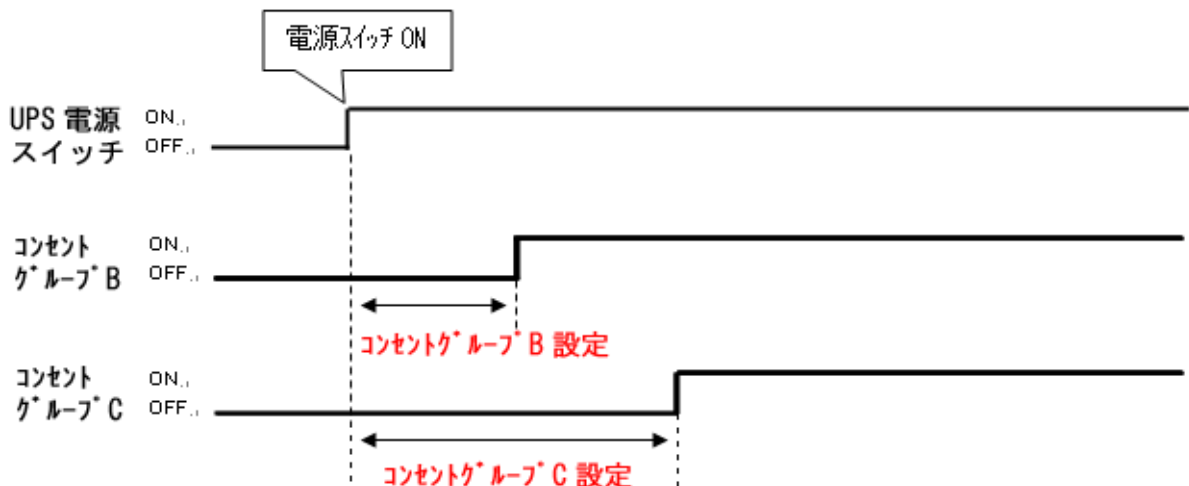
接点ポートのピンアサインを変更します。

6-4. 出力コンセント制御設定



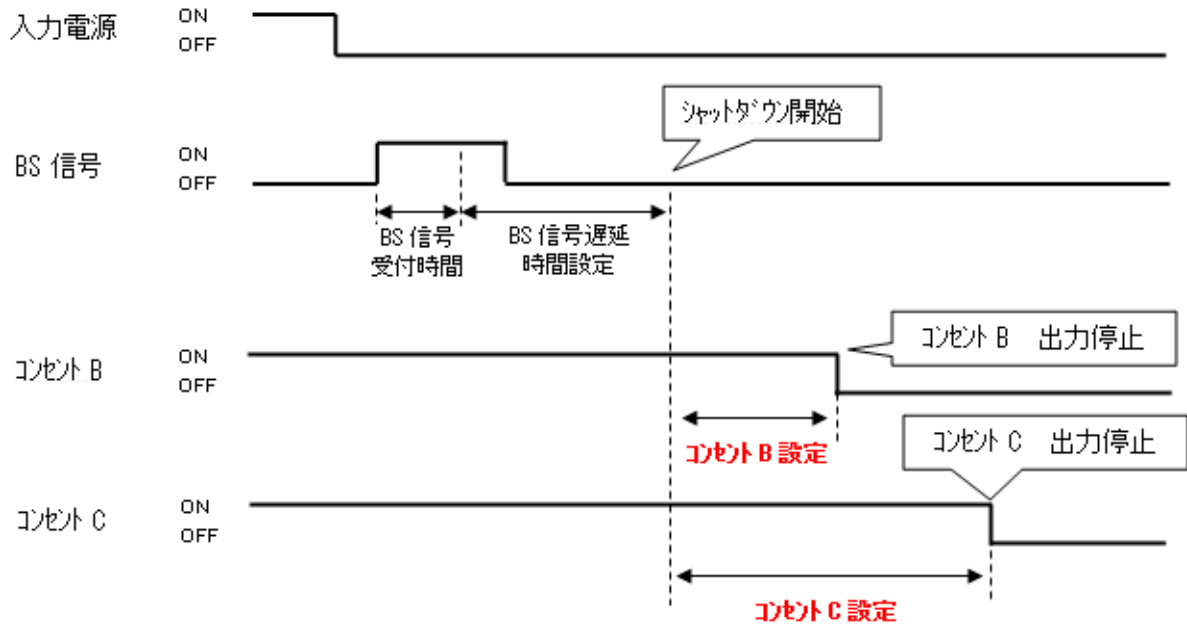
①出力開始遅延時間設定

UPS 起動時にコンセントグループ毎の出力開始遅延時間を設定します。UPS は起動時に設定時間分待ってからコンセントグループの出力を開始します。



②出力停止遅延時間設定

UPS シャットダウン時のコンセントグループ毎の出力停止遅延時間を設定します。UPS はシャットダウン時に設定時間分待ってからコンセントグループの電源出力を停止します。



6-5. 入出力設定



①出力電圧設定

UPS の出力電圧を設定します。

※この設定は UPS の電源スイッチ OFF 時のみ変更可能です。

②周波数同期モード

UPS の周波数同期モードを設定します。

※この設定は UPS の電源スイッチ OFF 時のみ変更可能です。

③ECO モード

- ・ ON (チェックあり) : ECO モードを有効に設定します。
- ・ OFF (チェックなし) : ECO モードを無効に設定します。

④入力プラグ

UPS の入力プラグの電流容量を設定します。

※この設定は UPS の電源スイッチ OFF 時のみ変更可能です。

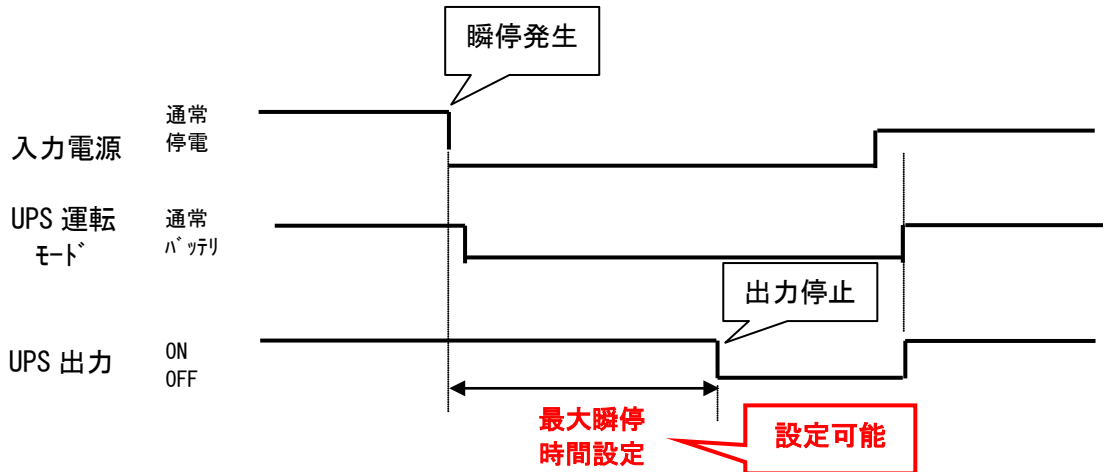
⑤切替感度

UPS が入力電源異常と判定する瞬停の閾値を変更します。

- ・ 標準 : 1ms 以下の瞬停は入力電源異常と判定しない。
- ・ 高感度 : 1ms 以下の瞬停も入力電源異常と判定する(バックアップ運転をする)。

⑥最大瞬停時間

UPS は設定した瞬停時間を検知すると、直ちに出力を停止します。



使用例) UPS を瞬停保護装置として使用する。

⑦電源スイッチ機能

電源スイッチの動作モードを設定します。

- ・UPS シャットダウン : UPS を出力停止する (工場出荷値)
- ・UPS+PC シャットダウン : UPS とコンピュータをシャットダウンする

参考

「UPS+PC シャットダウン」の必須条件

条件 1 : 自動シャットダウンソフト (PowerAct Pro、Simple Shutdown Software、PowerAttendant Lite) を併用する

条件 2 : UPS は「自動再起動しない」設定にする

UPS+PC シャットダウン例/BN100T+コンピュータの場合

<準備>

1. BN100T 本体操作又は、UPS 設定ユーティリティで以下①、②の設定をする

①UPS 起動設定→自動再起動→「無効」

②入出力設定→電源スイッチ機能→「UPS+PC シャットダウン」

2. コンピュータに自動シャットダウンソフトをインストールし、停電発生時にコンピュータと BN100T がシャットダウンするようにしておく。

<操作>

①BN100T の電源スイッチを 3 秒長押し (電源オフ操作) します。※1

②BN100T はスイッチ操作を受け付けると、停電信号を出します。

③自動シャットダウンソフトが停電信号を検出し、設定値に従いコンピュータと BN100T をシャットダウンします。

※1 電源スイッチを 6 秒以上長押しすると、UPS が出力停止しますのでご注意ください。

6-6. バッテリ設定



① バッテリ寿命カウンタ

バッテリ寿命カウンタを無効にする設定です。

- ・ ON (チェックあり) : 有効 (工場出荷値)
- ・ OFF (チェックなし) : 無効

「リセット」ボタンを押すと、バッテリ寿命カウンタがリセットされます。

② UPS 寿命カウンタ

UPS 寿命カウンタを無効にする設定です。

- ・ ON (チェックあり) : 有効 (工場出荷値)
- ・ OFF (チェックなし) : 無効

③ バッテリロー検出レベル

バッテリローの検出レベルを設定します。

入力電源異常によるバックアップ運転時、バッテリ電圧が設定値以下になるとバッテリロー表示で通知します。

④ UPS 設置日

UPS の設置日を設定します。

設定値は覚書ですので、UPS の動作には影響しません。

⑤ バッテリ交換日

バッテリ交換日を設定します。

設定値は覚書ですので、UPS の動作には影響しません。

⑥ 増設バッテリユニット数

UPS に増設したバッテリユニット数を設定します。

6-7. LCD 制御設定・その他



- ①表示言語
UPS 本体の LCD パネルの表示言語を設定します。
- ②LCD 自動オフ
LCD パネルの画面自動オフ機能を設定します。
- ③メモ
UPS 内部にメモを残すことができます。UPS の動作には影響しません。
- ④内蔵時計
UPS 内蔵時計の時間を設定します。
- ⑤ログ件数
内部ログデータを消去します。

6-8. コマンド送受信

UPS に直接コマンドを送信します。
カスタマサポート等で指示があった場合、使用してください。

7. 設定項目の機種別対応表

7-1. 常時インバータ給電方式 (200V/正弦波)

		BU-2RWL	BU1002RW	BU-2SW
1	ブザー			
	バックアップ時オフ	◎	◎	●
	常時オフ	◎	◎	○
2	電圧感度モード設定	—	—	—
3	コールドスタート設定	—	—	◎
4	最大バックアップ時間設定	◎	◎	○
5	起動時の自己診断テスト	◎	◎	○
6	4週間毎の自己診断テスト	◎	◎	●
7	起動遅延時間設定	◎	◎	○
8	起動バッテリー充電容量設定	◎	◎	—
9	DC 起動	—	—	—
10	自動再起動	◎	◎	●
11	自動再起動モード (BS 信号)	◎	◎	●
12	BS 信号遅延時間設定	◎	◎	◎
13	BU 信号遅延時間設定	◎	◎	●
14	BS 信号許可モード	◎	◎	●
15	BS 信号受付時間	—	—	●
16	リモート信号動作	◎	◎	—
17	接点信号論理	◎	◎	●※2
18	可変出力信号線 1	—	—	—
19	可変信号線出力 2	—	—	—
20	可変信号線出力 3	—	—	—
21	コンセント B/C 出力開始遅延時間設定	—	—	○※1
22	コンセント B/C 出力停止遅延時間設定	—	—	—
23	出力電圧設定	◎	◎	◎
24	周波数同期モード	◎	◎	—
25	ECO モード	○	○	—
26	入力プラグ	—	—	—
27	切替感度	—	—	—
28	最大瞬停時間	○	○	○
29	電源スイッチ機能	◎	◎	—
30	バッテリー寿命カウンタ	◎	◎	—
31	UPS 寿命カウンタ	◎	◎	—
32	バッテリーロー検出レベル	◎	◎	—
33	UPS 設置日	◎	◎	—
34	バッテリー交換日	◎	◎	○
35	増設バッテリーユニット数	—	—	—
36	表示言語	◎	◎	—
37	LCD 自動オフ	◎	◎	—
38	メモ	◎	◎	—
39	内蔵時計	◎	◎	○
40	ログ件数	○	○	—

◎ : ハード (UPS 本体) / ソフト (設定ユーティリティ) 共に設定可 ○ : ソフトのみ設定可

● : ハードのみ設定可 / 詳細は UPS の取扱説明書参照 — : 機能非搭載

※1 : 設定値の読込、確認不可

※2 : BU、BL のみ反転可

7-2. 常時インバータ給電方式 (100V/正弦波)

		BU-SW	BU-RW	BU-RE	BA-T/R BU100RS	BU150R
1	ブザー	●	●	●	●	●
	バックアップ時オフ	○	○	○	○	○
	常時オフ	○	○	○	○	○
2	電圧感度モード設定	—	—	—	—	—
3	コールドスタート設定	◎	◎	—	◎	—
4	最大バックアップ時間設定	○	○	○	◎	◎
5	起動時の自己診断テスト	—	○	○	○	○
6	4週間毎の自己診断テスト	●	●	●	●	●
7	起動遅延時間設定	○	○	○	○	○
8	起動バッテリー充電容量設定	—	○	○	◎	◎
9	DC 起動	○	—	—	—	○
10	自動再起動	●	●	●	●	●
11	自動再起動モード (BS 信号)	●	●	●	●	●
12	BS 信号遅延時間設定	◎※4	◎	◎	◎	◎
13	BU 信号遅延時間設定	●	○	○	◎	◎
14	BS 信号許可モード	●	●	●	○	●
15	BS 信号受付時間	●	●	●	○	●
16	リモート信号動作	—	—	○	●	●
17	接点信号論理	●※3	●※3	○	◎	◎
18	可変出力信号線 1	—	—	—	—	—
19	可変信号線出力 2	—	—	—	—	—
20	可変信号線出力 3	—	—	—	—	—
21	コンセント B/C 出力開始遅延時間設定	—	○※1	—	—	○
22	コンセント B/C 出力停止遅延時間設定	—	○※1	—	—	○
23	出力電圧設定	◎	◎	◎	◎	◎
24	周波数同期モード	○	—	—	●	○
25	ECO モード	—	—	●	●	—
26	入力プラグ	●※2	●※2	—	—	●
27	切替感度	—	—	—	—	—
28	最大瞬停時間	—	—	○	○	○
29	電源スイッチ機能	—	—	—	○	○
30	バッテリー寿命カウンタ	—	—	—	○	○
31	UPS 寿命カウンタ	—	—	—	○	○
32	バッテリーロー検出レベル	—	—	—	○	○
33	UPS 設置日	—	—	—	○	○
34	バッテリー交換日	○	○	○	○	○
35	増設バッテリーユニット数	—	—	—	—	◎
36	表示言語	—	—	—	—	—
37	LCD 自動オフ	—	—	—	—	—
38	メモ	—	—	—	○	○
39	内蔵時計	—	○	○	○	○
40	ログ件数	—	—	—	○	○

◎ : ハード (UPS 本体) / ソフト (設定ユーティリティ) 共に設定可

○ : ソフトのみ設定可 ● : ハードのみ設定可 / 詳細は UPS の取扱説明書参照 — : 機能非搭載

※1 : コンセント A も設定可 ※2 : 対応容量 (型式) 他詳細は UPS の取扱説明書参照

※3 : BU、BL のみ反転可 ※4 : ハード側で設定する場合は、ソフト側は無効 (初期値 9999) にすること

7-3. ラインインタラクティブ方式 (100V/正弦波)

		BN-S	BN-T	BN150XR	BN-R
1	ブザー	●	◎	○	◎
	バックアップ時オフ	○	◎	—	◎
	常時オフ	○	◎	—	◎
2	電圧感度モード設定	◎	◎	○	◎
3	コールドスタート設定	◎	◎	—	◎
4	最大バックアップ時間設定	○	◎	—	◎
5	起動時の自己診断テスト	○	◎	—	◎
6	4週間毎の自己診断テスト	●	◎	○	◎
7	起動遅延時間設定	○	◎	—	◎
8	起動バッテリー充電容量設定	○	◎	—	◎
9	DC 起動	—	—	—	—
10	自動再起動	●	◎	○	◎
11	自動再起動モード (BS 信号)	●	◎	—	◎
12	BS 信号遅延時間設定	◎	◎	—	◎
13	BU 信号遅延時間設定	○	◎	—	◎
14	BS 信号許可モード	●	◎	—	◎
15	BS 信号受付時間	●	○	—	○
16	リモート信号動作	—	◎	—	◎
17	接点信号論理	—	◎	—	◎
18	可変出力信号線 1	—	—	—	—
19	可変信号線出力 2	—	—	—	—
20	可変信号線出力 3	—	—	—	—
21	コンセント B/C 出力開始遅延時間設定	○※1※3	◎※3	○※2	◎
22	コンセント B/C 出力停止遅延時間設定	○※1※3	◎※3	—	◎
23	出力電圧設定	◎	◎	○	◎
24	周波数同期モード	—	◎	—	◎
25	ECO モード	—	◎	—	◎
26	入力プラグ	●※3	◎※3	—	◎※3
27	切替感度	—	◎	—	◎
28	最大瞬停時間	—	○	—	○
29	電源スイッチ機能	—	◎	—	◎
30	バッテリー寿命カウンタ	—	◎	—	◎
31	UPS 寿命カウンタ	—	◎	—	◎
32	バッテリーロー検出レベル	—	◎	—	◎
33	UPS 設置日	—	◎	—	◎
34	バッテリー交換日	○	◎	○	◎
35	増設バッテリーユニット数	—	—	—	—
36	表示言語	—	◎	—	◎
37	LCD 自動オフ	—	◎	—	◎
38	メモ	—	◎	—	◎
39	内蔵時計	○	◎	—	◎
40	ログ件数	—	◎	—	◎

◎ : ハード (UPS 本体) / ソフト (設定ユーティリティ) 共に設定可

○ : ソフトのみ設定可 ● : ハードのみ設定可 / 詳細は UPS の取扱説明書参照 — : 機能非搭載

※1 : コンセント A も設定可

※2 : 設定値の読み、確認不可

※3 : 対応容量 (型式) 他詳細は UPS の取扱説明書参照

7-4. 常時商用給電方式 (100V/正弦波)

		BY50FW BY75SW	BY-S	BW-T
1	ブザー	●	●	○
	バックアップ時オフ 常時オフ	○	○	◎
2	電圧感度モード設定	—	◎	◎
3	コールドスタート設定	◎	◎	◎
4	最大バックアップ時間設定	○	○	◎
5	起動時の自己診断テスト	—	○	◎
6	4週間毎の自己診断テスト	●	●	○
7	起動遅延時間設定	○	○	○
8	起動バッテリー充電容量設定	—	○	◎
9	DC 起動	—	—	—
10	自動再起動	●	●	◎
11	自動再起動モード (BS 信号)	—	—	—
12	BS 信号遅延時間設定	●	—	○
13	BU 信号遅延時間設定	—	—	○
14	BS 信号許可モード	●	—	○
15	BS 信号受付時間		—	○
16	リモート信号動作	—	—	—
17	接点信号論理	—	—	○
18	可変出力信号線 1	—	—	○
19	可変信号線出力 2	—	—	○
20	可変信号線出力 3	—	—	○
21	コンセント B/C 出力開始遅延時間設定	—	—	—
22	コンセント B/C 出力停止遅延時間設定	—	—	—
23	出力電圧設定	◎	—	○
24	周波数同期モード	—	—	○
25	ECO モード	—	—	—
26	入力プラグ	—	—	—
27	切替感度	—	—	—
28	最大瞬停時間	—	—	○
29	電源スイッチ機能	—	—	◎
30	バッテリー寿命カウンタ	—	—	◎
31	UPS 寿命カウンタ	—	—	○
32	バッテリーロー検出レベル	—	—	○
33	UPS 設置日	—	—	—
34	バッテリー交換日	○	○	—
35	増設バッテリーユニット数	—	—	—
36	表示言語	—	—	—
37	LCD 自動オフ	—	—	◎
38	メモ	—	—	—
39	内蔵時計	—	—	—
40	ログ件数	—	—	○

◎ : ハード (UPS 本体) / ソフト (設定ユーティリティ) 共に設定可

○ : ソフトのみ設定可

● : ハードのみ設定可 / 詳細は UPS の取扱説明書参照

— : 機能非搭載

7-5. 常時商用給電方式 (100V/矩形波)

		BX50FW BX75SW	BX35F BX50F	BZ35LT2 BZ50LT2
1	ブザー	●	●	○
	バックアップ時オフ 常時オフ	○	○	—
2	電圧感度モード設定	—	—	—
3	コールドスタート設定	◎	◎	—
4	最大バックアップ時間設定	○	○	—
5	起動時の自己診断テスト	—	—	—
6	4週間毎の自己診断テスト	●	●	○
7	起動遅延時間設定	—	—	—
8	起動バッテリー充電容量設定	—	—	—
9	DC 起動	—	—	—
10	自動再起動	●	●	○
11	自動再起動モード (BS 信号)	—	—	—
12	BS 信号遅延時間設定	●	—	—
13	BU 信号遅延時間設定	—	—	—
14	BS 信号許可モード	●	—	—
15	BS 信号受付時間		—	—
16	リモート信号動作	—	—	—
17	接点信号論理	—	—	—
18	可変出力信号線 1	—	—	—
19	可変信号線出力 2	—	—	—
20	可変信号線出力 3	—	—	—
21	コンセント B/C 出力開始遅延時間設定	—	—	—
22	コンセント B/C 出力停止遅延時間設定	—	—	—
23	出力電圧設定	◎	—	—
24	周波数同期モード	—	—	—
25	ECO モード	—	—	—
26	入力プラグ	—	—	—
27	切替感度	—	—	—
28	最大瞬停時間	—	—	—
29	電源スイッチ機能	—	—	—
30	バッテリー寿命カウンタ	—	—	—
31	UPS 寿命カウンタ	—	—	—
32	バッテリーロー検出レベル	—	—	—
33	UPS 設置日	—	—	—
34	バッテリー交換日	○	○	—
35	増設バッテリーユニット数	—	—	—
36	表示言語	—	—	—
37	LCD 自動オフ	—	—	—
38	メモ	—	—	—
39	内蔵時計	—	—	—
40	ログ件数	—	—	—

◎ : ハード (UPS 本体) / ソフト (設定ユーティリティ) 共に設定可

○ : ソフトのみ設定可

● : ハードのみ設定可 / 詳細は UPS の取扱説明書参照

— : 機能非搭載

OMRON	UPS 設定ユーティリティ 取扱説明書	
	For Ver.4.0.3	Rev 1.02

8. アンインストール

本ツールをアンインストールされる場合は次の手順で行ってください。

【アンインストール手順】

- ① 「起動遅延時間設定ツール」を終了します。
- ② 「UPS_utility_ver403」フォルダを削除します。

以上